

Beyond "Green"

—ランドスケープアーキテクチャーの可能性を探る—

2022 年 12 月 5 日 (月) 18:30 ~ 20:30

講師：鈴木マキエ (GGN, Principal, ランドスケープ・アーキテクト)

ランドスケープアーキテクチャー、日本語ではその全容を掴む単語や表現がない分野だと思われます。一般的に「緑化」や「園芸」などと訳され、植栽デザイン面がフォーカスされがちな印象ですが、今回の講演ではランドスケープアーキテクチャーの都市デザインや公共空間形成における多様な役割や貢献を、地元大阪のうめきた 2 期開発やアメリカをはじめとする海外プロジェクトの事例を通じてお話ししたいと思います。皆さんと一緒に、これからの日本におけるランドスケープアーキテクチャーの可能性を考え、探っていくきっかけの場の一つになればと思っています。(講師コメント)



会 場：関西大学梅田キャンパス 8F 大ホール
" KANDAIME RISE ホール"

大阪市北区鶴野町 1-5
阪急大阪梅田駅茶屋町口から徒歩 5 分
JR 大阪駅御堂筋南口から徒歩 10 分



参加費：無料

申 込：本フライヤーの QR コードより、12 月 2 日までに
お申込みください。(定員 80 名、先着順)

※当日は、マスクの着用、検温、アルコール消毒にご協力ください。

鈴木マキエ (SUZUKI Makie)

米国シアトルを拠点にするランドスケープアーキテクト。オレゴン州ウィラメット大学で Bachelor of Arts をアートと社会学で取得後、ワシントン大学で MLA (ランドスケープアーキテクチャ修士号) とアーバンデザインサーティフィケートを取得。ランドスケープデザイン・建築オフィスやバージニア大学建築学部講師などを経た後、現在勤務している GGN に 2012 年に入社。

40 平方キロメートル以上の大規模な地域マスタープランからホームレスのための極小ハウスプロジェクトまで幅広いスケールやタイプのプロジェクトを手掛ける。過去に携わったプロジェクトは世界 10 か国以上。現在は大阪のうめきた 2 期地区開発も担当。ワシントン大学にて客員教授も兼任中。

